

奇跡のオペラの感動を映画で



あなたは、17世紀初頭にあった
ベトナムのお姫様と日本の商人との
愛の物語をご存知ですか

ミュージカル化決定記念上映会 第一弾

オペラ

アニオー姫

in CINEMA

クラシック界の第一人者・井上道義マエストロが絶賛！

毎日新聞学芸部特別編集委員・梅津時比古氏が再演を望む記事を紙面に掲載！

「オペラを初めて観たが、素晴らしかった。感動しました」(社会人 男性)

荒木宗太郎役
小堀勇介
テノール

アニオー姫役
ダオ・トロー・ロアン
ソプラノ

上映会特別企画

主演 小堀勇介(荒木宗太郎役)による
アリア・特別歌唱

総監督 指揮：本名徹次
作曲：チャン・ミン・ファン
演出 戯曲 作詞(日本語)：大山大輔
作詞(ベトナム語)：ハー・クアン・ミン
原作：新作オペラ「アニオー姫」プロジェクト 原作チーム
ベトナム漆画キービジュアル：安藤彩英子
歴史考証：ファン・ハイ・リン、友田博通、福川裕一、菊池誠一、安藤勝洋、本馬貞夫
共同制作：ベトナム国立交響楽団、ベトナム国立オペラバレエ団
制作協力：ホーチミン市立オペラバレエ交響楽団
制作アドバイザー：チャン・リ・リー
企画協力：在ベトナム日本国大使館
制作プロデューサー：佐々木真二
プロデューサー：チン・トゥン・リン、ファン・ミン・ドゥック、レ・ハ・ミー、谷真琴、足立信彦
統括プロデューサー：古川直正

2025.8.23 土 開場 13:00
開演 13:30

伊賀市文化会館 三重県伊賀市西明寺3240番地の2
0595-24-7015(代)

About オペラ「アニオー姫」プロジェクトとは

荒木宗太郎は17世紀初頭の御朱印貿易商で、長崎から広南国（現在のベトナム中部）へ赴き、国王から信頼を得て王女・玉華姫と結婚しました。長崎に迎えられた姫は「アニオーさん」として親しまれ、生涯を長崎で過ごしたのです。姫の輿入れの様子は、今も長崎の祭事「長崎くんち」において、7年に1度「御朱印船」の演目で再現され続けています。

私たちは、オペラ「アニオー姫」とこの愛の物語が、日越友好の象徴として末長く語り継がれていくことを目指して活動しています。



「愛、日越の友情、人と人との信頼、抗えない運命。」



「まだ観たりない、もっと観たいです」



「2時間半が、あっという間！」

「よくある周年記念作品と思っていたが、本気で作った作品だった！」

チケット情報

発売日 2025年6月20日(金) 午前9時
料金<自由席> 一般:2,000円(税込) 学生(小学生~大学生):1,000円(税込)
チケット取扱 伊賀市文化会館(☎0595-24-7015)
青山ホール(☎0595-52-1109)
電子チケット teket (<https://teket.jp/5744/51584>)
※未就学児入場不可



Story 物語

大航海時代の17世紀初頭、広南国の王女・玉華姫と荒木宗太郎は船上で出会う。10年後、二人は運命に導かれ再会。やがて結婚することを決意する。当初は反対していた王も、二人の変わらぬ決意と深い愛に、結婚を許し二人を長崎へ送り出す。
「アイン・オーイ！」長崎の町中で、天真爛漫な姫が宗太郎を広南の言葉で呼びかける。人々はそれを見て姫を「アニオーさん」の愛称で呼ぶようになった。娘も生まれ、幸せいっぱいの二人。そこに抗えない「時代の波」が襲いかかる。鎖国の通達が下されたのだ。二人の運命の行方は...?

上映会特別企画プログラム

第1部

オペラ「アニオー姫」 in CINEMA 上映会

第2部

主演 小堀勇介(荒木宗太郎役)によるアリア・特別歌唱
ピアノ: 杉本久美
オペラ「アニオー姫」第3幕より アリア「独り海に揺らく国」



2026年9月横浜にて
待望のミュージカル化決定!

オペラ「アニオー姫」
公式サイト



オペラ「アニオー姫」
公式 Youtube

